

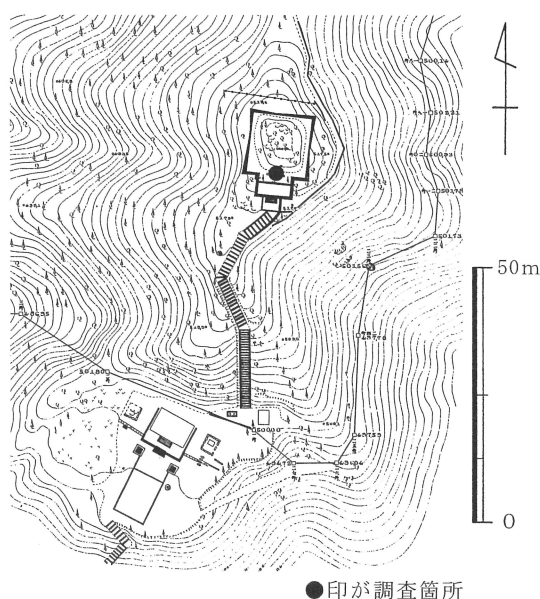
大碓命墓鳥居新築工事に伴う立会調査

本墓は、愛知県豊田市猿投町鷺取にある猿投神社西宮の后背地にあたる急峻な尾根上に位置し、現在は墳塋の周りを石垣と石堀で囲繞した状況となっている(第38図)。長らく鳥居が失われたままになっていたが、新たに石造鳥居を新築することになったため、平成17年1月17～21日の間、本部職員と監区職員で基礎埋設箇所の掘削に立ち会った。

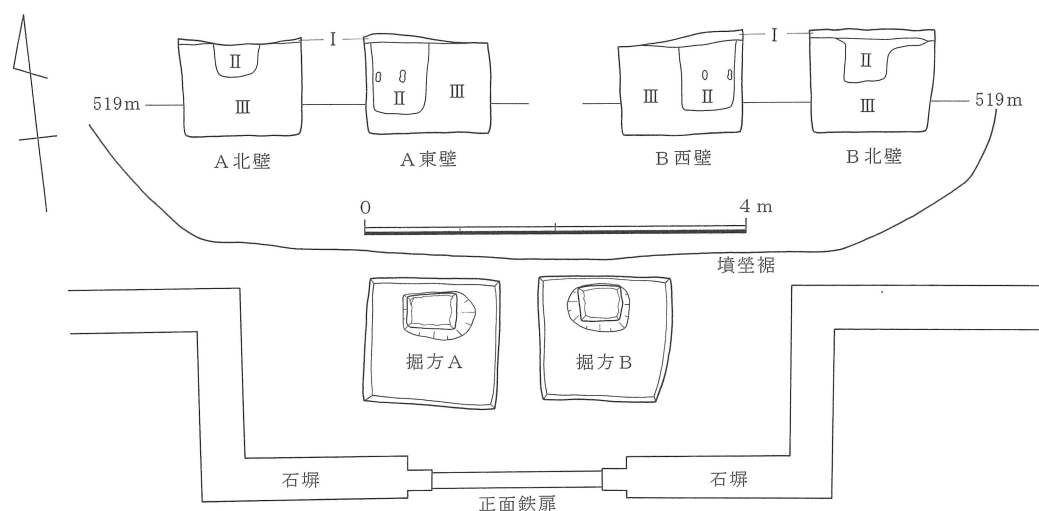
掘削は基礎埋設の2箇所で、ともに平面は約1.3 m四方、深さは約1.1mを測る(第39図)。掘削の結果、3層を確認した。Ⅰ層は表土で、薄い腐植土層である。Ⅱ層は旧鳥居設置の際の掘方の埋め戻し土である。Ⅲ層は地山で、完全に土壌化していない堅緻な花崗岩バイラン土層である。また、掘削箇所内では、埋め殺しにされていた旧木造鳥居の部材や柱を支えた礎石などが確認された。遺物は出土していない。

上記の結果を踏まえ、工事は予定どおり実施した。

(清喜裕二)



第38図 大碓命墓 調査箇所位置図(1/1500)



第39図 大碓命墓 調査箇所平面図および断面図 (1/80)